

学 科	鍼灸マッサージ科	学年	1年生	期 別	通年	科目の実務経歴	無
授業科目名	衛生学・公衆衛生学			担当教員	杉山誠一		
授業の方法	講義・演習			単位数	2単位	時間数	60時間
学修内容	人間の健康に影響を及ぼす諸因子を踏まえ、疾病予防、健康増進の知識について学ぶ。						
授業の到達目標	II. 医学的知識 3. 人体に影響を及ぼす諸因子(物理的、化学的、生物学的、心理的、文化的) 7. 疫学・衛生統計 8. リスク管理 V. 社会貢献 4. 疾病予防と健康増進に関するアドバイス						
授業計画	前 期			後 期			
	回	テーマ		回	テーマ		
	1	第1章 衛生学・公衆衛生学の意義 第2章 健康		1	第10章 消毒法 1.消毒の一般 2.消毒の種類		
	2	第2章 健康		2	第10章 消毒法 3.消毒の実際 2.医療廃棄物		
	3	第3章 ライフスタイルと健康 1.食品と栄養		3	第11章 疫学 1.疫学の意義 2.頻度の測定		
	4	第3章 ライフスタイルと健康 1.食品と栄養		4	第11章 疫学 3.疫学調査の段階と実例		
	5	第3章 ライフスタイルと健康 2.運動と健康		5	第11章 疫学 3.疫学調査の段階と実例		
	6	第8章 成人高齢者保健 3.生活習慣病の特徴と対策		6	第7章 母子保健 1.意義 2.母体の健康		
	7	第8章 成人高齢者保健 3.生活習慣病の特徴と対策		7	第7章 母子保健 3.乳幼児の健康		
	8	第4章 環境と健康 1.環境とは 2.日常生活環境		8	第5章 産業保健 1.意義 2.労働衛生行政		
	9	第4章 環境と健康 2.日常生活環境		9	第5章 産業保健 3.労働災害		
	10	第4章 環境と健康 2.日常生活環境 3.環境問題		10	第5章 産業保健 4.業務上疾病と対策		
	11	第4章 環境と健康 3.環境問題		11	第6章 精神保健 1.意義 2.精神の健康		
	12	第9章 感染症とその対策 1.感染症の意義と種類		12	第6章 精神保健 3.精神障害の現状と分類		
	13	第9章 感染症とその対策 2.発生要因		13	第12章 保健統計 1.保健統計の意義 2.主な保健統計		
	14	第9章 感染症とその対策 3.感染症予防の原則 4.免疫		14	第12章 保健統計 3.主な保健統計指標		
15	第9章 感染症とその対策 感染症の動向		15	第12章 保健統計 3.主な保健統計指標			
評価基準	評価:90-100点(A評価)、80-89点(B評価)、70-79点(C評価)、60-69点(D評価)、59点以下(F・不可)						
評価方法	中間試験40%、期末試験40%、小テスト20%			実務経験	全日本鍼灸学会、統合医療学会、静岡県鍼灸マッサージ師会		
履修上の注意	欠席が半期毎に5回を超えないこと。小テストが中間・期末試験に関連しますので、しっかりと学習をしてください。			授業時間外の学習	課題レポートあり 単元ごとの小テストおよび定期試験の復習を行うこと。		
使用教材	「衛生学・公衆衛生学」(東洋療法学校協会)、「国民衛生の動向」(厚生労働統計協会) など			連絡先	事務課を通して、質問に来てください。		